

おわりに

このハンドブックで説明してきた就労支援の内容は、概ね、就労支援に携わってきた支援者であれば、意識的に、あるいは無意識的に行ってきた支援かも知れません。しかし、これまで、具体的な支援行動としては明示されていなかったことを考えますと、就労支援の経験者であれば再確認の資料として、また、これから就労支援を始めたいという支援者であれば支援行動のノウハウとして、役立てていただけたと思います。

また、このハンドブックに掲載しているプロセス図については、実践的質的研究法である修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチの技法を用いた研究（「精神障害者に対する就労支援過程における当事者のニーズと行動の変化に応じた支援技術の開発に関する研究（平成 19～20 年度）」（報告書 No.90））によって得られた結果図を基に、作成、加工したものです。修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチは、データに密着した分析から独自の理論を生成する質的研究法であり、実践的な活用を意識した研究法として最近注目されています。しかし、この理論は、分析に用いたデータに関する限りという限定つきであるため、今回提示したプロセス図は統合失調症者の就労支援を表すものとして完全とはいえませんが、統合失調症者の就労支援の状況を図で表すことによって、これまで経験や試行錯誤の中で行われてきた就労支援のあり方がより理解しやすくなるのではないかと思います。また、実践的に活用され応用されることによって、プロセスとしての完成度を高めていくことにも繋がると考えられます。このハンドブックが多くの就労支援関係者の方々に活用してもらえることを期待します。

最後になりましたが、修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチについて、ご指導をいただきました立教大学社会学部長木下康仁先生に心から御礼申し上げます。また、本研究にご協力いただきました関係協力機関のみなさま並びに障害者職業センターのみなさまに対しまして心より感謝申し上げます。

引用・参考文献

榎澤直美（2004）：特集 職業リハビリテーションにおける「倫理」についての考察－精神に障害のある方の就労支援－，職業リハビリテーション Vol.17 No.1，26-30

野中猛・松為信雄編（1998）：精神障害者のための就労支援ガイドブック，金剛出版

野中猛（2003）：【図説】精神障害リハビリテーション，中央法規

吉田 光爾他（2007）：就労における精神障害者の障害の開示状況の実態～（社）大阪精神科診療所協会地域精神保健委員会「就労調査アンケート」の結果から～，精神障害とリハビリテーション第 11 巻第 1 号，66-76

NHK オンライン（2006）：福祉ネットワーク 働くあなたを支えたい ～長野県の精神障害者就業支援～，

http://www.nhk.or.jp/heart-net/fnet/arch_new/wed/60419.html

卷末資料

- 図 1 統合失調症者の就労支援における支援行動のプロセス
- 図 2 統合失調症者の就労支援における意思決定を支える支援プロセス

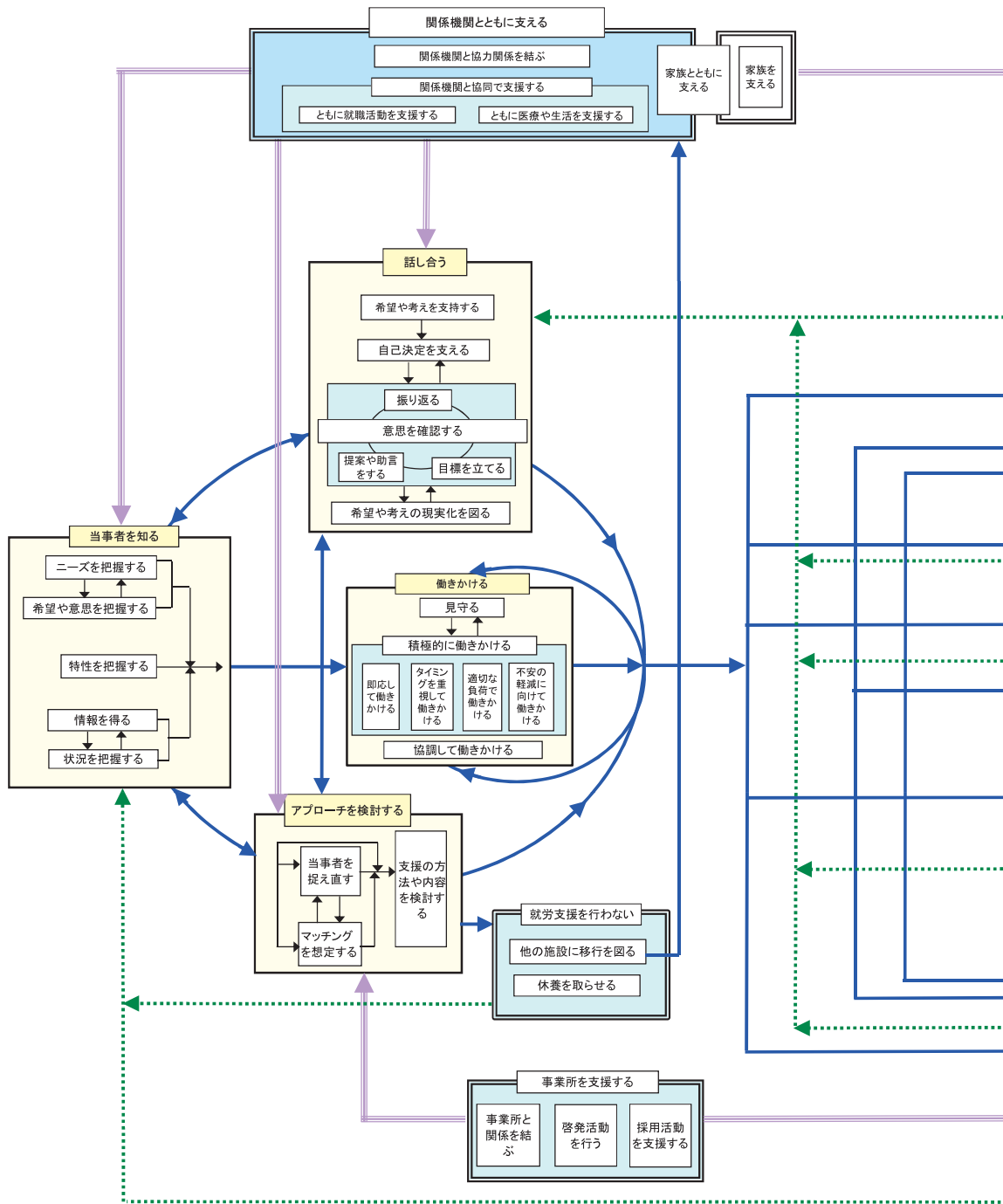
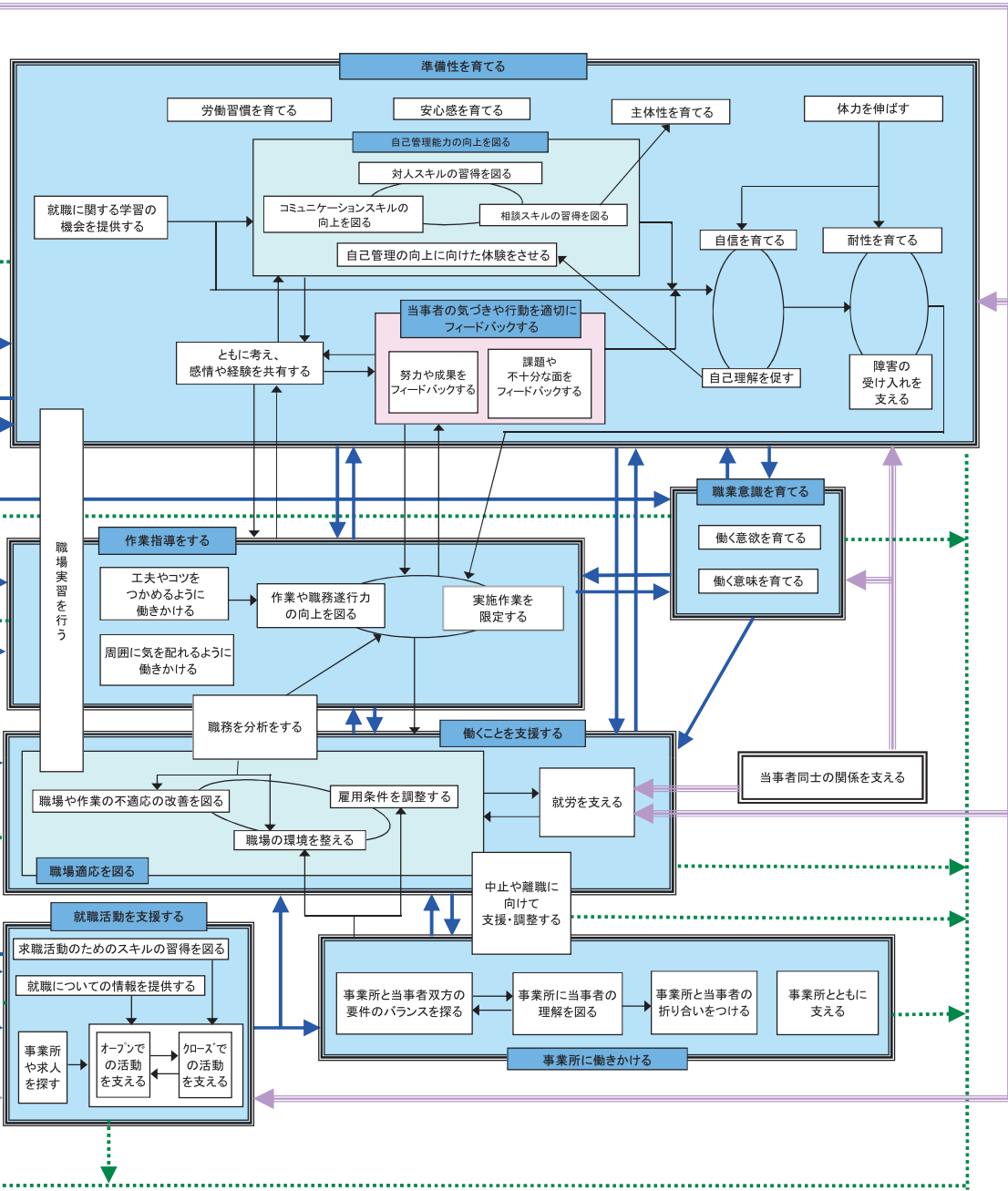


図 1 統合失調症者に対する就労

- 支援行動の動きを示す矢印
- 方針決定に戻る矢印
- 支援行動への影響を示す矢印



支援における支援行動のプロセス

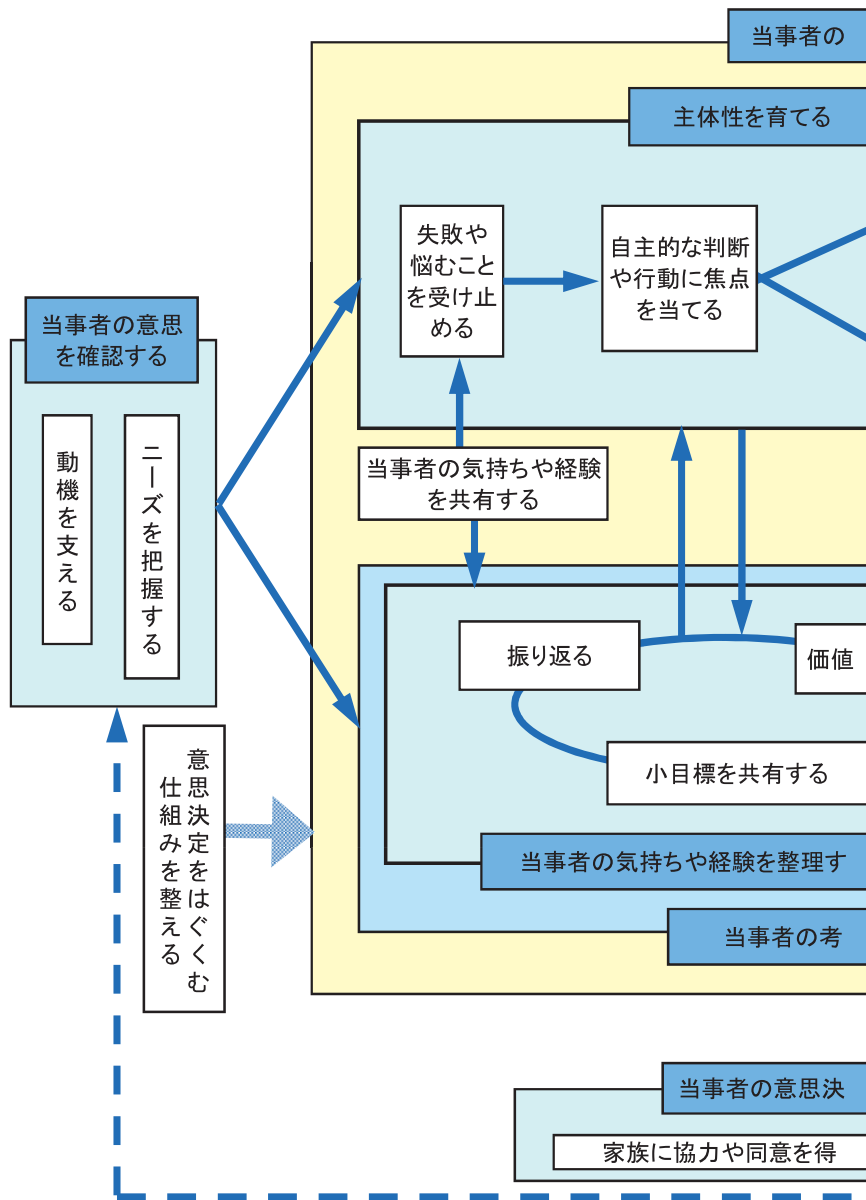
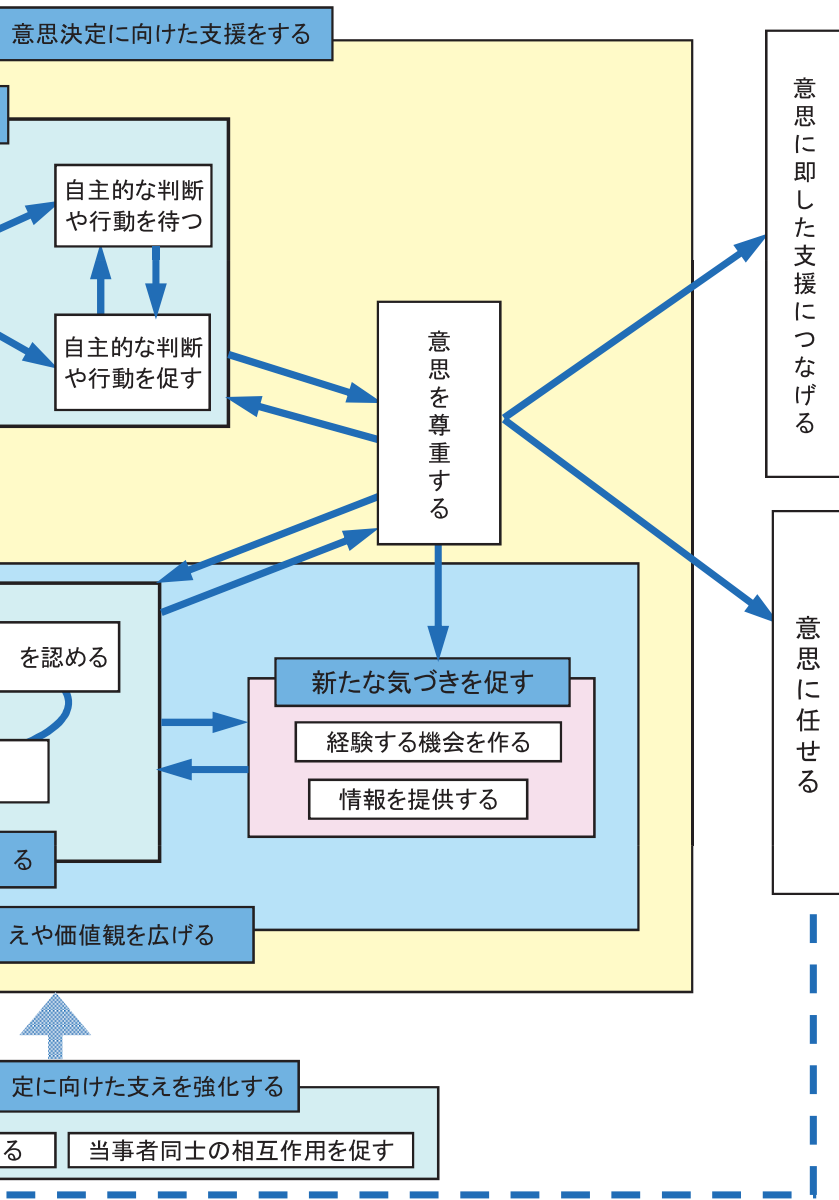


図2 統合失調症者に対する就労支援



における意思決定を支える支援プロセス

本ハンドブックの執筆担当

小池 磨美 障害者職業総合センター研究員
小松まどか 障害者職業総合センター研究員

研究報告の詳細については、以下の調査研究報告書をご参照ください。

「精神障害者に対する就労支援過程における当事者のニーズと行動の変化に応じた支援技術の開発に関する研究」

(障害者職業総合センター調査研究報告書No.90, 2009)

就労支援ハンドブック

統合失調症者を支えるために

編集・発行	独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構 障害者職業総合センター 〒261-0014 千葉県美浜区若葉 3-1-3 電話 043-297-9067 FAX 043-297-9057
発行日	2009年3月
印刷・製本	株式会社こくぼ
